



今日のキーワード 日本のコロナ『ワクチン』開発進展に期待

新型コロナウイルスの感染が世界各地で再拡大、国内でも首都圏中心に感染が拡大し、緊急事態宣言が再発令される状況にあります。そうした中、昨年12月から米ファイザーの『ワクチン』が英国、米国などでの接種が始まり、感染収束の切り札として期待が高まっています。国内企業もアンジェスに次いで塩野義製薬も『ワクチン』の臨床試験（治験）を始めています。『ワクチン』の選択肢を広げる上で国内企業の開発進展が期待されます。

ポイント1 欧米などで『ワクチン』接種開始

- ファイザーの『ワクチン』が英国で緊急使用許可を得て、12月8日に英国で接種が始まり、米モデルナ、英アストラゼネカの『ワクチン』も接種が始まりました。
- 日本政府は2021年前半までに国民全員分の『ワクチン』を確保する目標を掲げますが、世界各国間で『ワクチン』の獲得競争が激化しています。欧米の企業にはやや遅れましたが、国内企業もアンジェスに次いで塩野義製薬も治験を始めています。このほか、第一三共なども『ワクチン』開発を進めています。

ポイント2 国内企業も治験開始

【主要な『ワクチン』の開発状況】

- アンジェスは12月8日、開発中のウイルスの遺伝情報の一部を体内に送り込み抗体を作る「DNAワクチン」について、投与対象を増やした治験を開始したと発表しました。500人の健康な成人を対象に8施設で実施し、最終段階の治験は21年以降に国内外で合計数万人規模で行う見通しです。
- 塩野義製薬は12月16日、開発中の新型コロナウイルスの『ワクチン』について、国内で治験を開始したと発表しました。21年末までに生産能力を年間3,000万人分以上にする計画です。開発するのは「組み換えタンパクワクチン」で『ワクチン』はウイルスの遺伝子情報を基に昆虫細胞を使って作り、製造期間は8週間程度と短くなります。

開発国および社名など	種類	開発状況
米国 ファイザー/ ビオンテック	mRNAワクチン	95%の有効性を確認、 緊急使用許可承認
米国 モデルナ	mRNAワクチン	94.5%の有効性を確認、 緊急使用許可承認
英国 アストラゼネカ/ オックスフォード大学	アデノウイルス ベクターワクチン	70%の有効性を確認、 緊急使用許可承認
日本 アンジェス	DNAワクチン	臨床試験を500人の健康な成人を対象に8施設で実施
日本 塩野義製薬	組み換えタンパクワクチン	臨床試験を200人の健康な成人を対象に実施

（出所）各種報道を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 国内企業の『ワクチン』の治験進展に期待

- 『ワクチン』は先行した欧米の3社でも治験数が十分といえず、東京五輪を控え国内では『ワクチン』への期待と不安が交錯している状況にあります。政府の要請によりファイザーの『ワクチン』は、2月下旬接種開始に日程が前倒しされましたが、世界での獲得競争は激化しています。新型コロナ収束に向け安定した供給体制を確立する上で、国内企業の治験が進み国産の『ワクチン』という選択肢が加わるのが期待されます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここもチェック!

2020年12月24日 今年を振り返るキーワード4新型『コロナ』ウイルス
2020年12月 3日 間もなく接種開始、新型コロナ『ワクチン』実用化へ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。